

# 事業評価シート（平成24年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	地域に根ざした教育推進事業		
事業担当	学校教育部 教育指導課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'01	①〈人間力〉 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	'05	5 基礎的な学力を身につけ、個性を伸ばす教育を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	地域の教育資源と地域の学校	事業期間	平成24年度 ~
委託、協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
目的・目標		事業の概要	
学校・家庭・地域相互の連携協力が推進され、より良い学校づくりが展開されています。		地域の教育資源を生かし、地域との密接な連携のもと、地域に根ざした魅力ある学校教育活動を展開します。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	活動教科・領域数			単位	教科・領域
	説明・算定式	学習支援ボランティアが活動する教科や領域数(平成24年度から)				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標			3	3	
	実績			3		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	学習支援ボランティアの活動に係る学校からの評価			単位	点
	説明・算定式	学習支援ボランティアの活動に係る学校からの評価(5段階)の平均値(平成24年度から)				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標			3.5	3.5	
	実績			5		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	①: 予定どおり					
	遅れている理由					
平成24年度の主な取組と成果						
地域の教育資源を生かし、密接な連携のもと、地域に根ざした魅力ある学校教育活動を展開及び学力向上を目指して、学習支援ボランティアを教科や領域等の補助指導者として活用しました。						
平成24年度の検証結果	A: 成果があがった					

	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
事業分析	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	地域の教育資源を生かし、学校、家庭、地域が密接な連携のもと、魅力ある学校教育活動を推進していくことは、より良い学校づくりにおいて必要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	地元大学の学生ボランティアが、継続して学校での授業及び情報環境整備等における補助指導者として活動することにより、生徒の学力向上及び学校生活の充実が図られています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	生徒の学力向上及び地域に根ざした魅力ある学校教育活動を充実させるため、地域の教育資源である地元大学の教員志望の学生ボランティアを活用することは有効と考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	学校や生徒、学生ボランティア双方のニーズに合った教科や領域等を充実していくことで、より地域に根ざした魅力ある学校教育活動の展開につながっていきます。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		地域に根ざした学校教育活動を展開するにあたり、学校、生徒のニーズに合った領域分野を引き続き検討していく必要があります。今後の方向性について協議する場や相互の情報交換の時間の確保も必要です。		

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容				学習支援ボランティアの活動	学習支援ボランティアの活動
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	30	45
事業費 (A)		0	0	30	45
執行率 (%)		—	—	100.00	
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.11	0.35
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	882	2,782
フルコスト (A+B)		0	0	912	2,827

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の取組方針	地域の教育資源を生かし、地域とのさらなる連携のもと、学力向上、情報環境整備等、魅力ある学校教育活動を展開します。
課長コメント	引き続き、地域の教育資源を生かし、地域との密接な連携のもと、地域に根ざした魅力ある学校教育活動を展開していきたいと考えています。